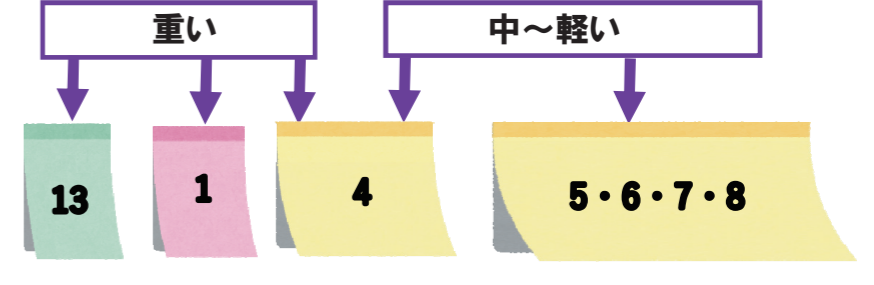
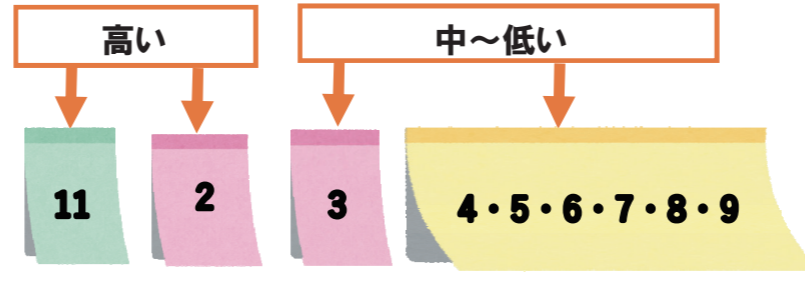
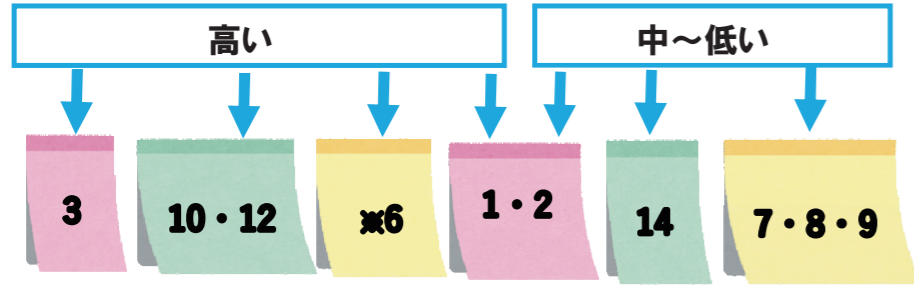


医療

リハビリ

認知症



施設の特徴(目安)	介護保険施設			民間施設						病院施設				
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
	特別養護老人ホーム(特養)	介護老人保健施設(老健)	介護医療院	グループホーム	ケアハウス(経費老人ホーム)	小規模多機能型居宅介護または※看護付	サービス付き高齢者向け住宅	介護付き有料老人ホーム	住宅型有料老人ホーム	療養病床	回復期リハビリテーション病棟	緩和ケア病棟	精神病院(認知症病棟)	地域包括ケア病棟
	日常生活支援・身体介護が中心、入居待ちの場合が多い	医療的ケアとリハビリ、日常生活訓練を行い家庭復帰を目指す	長期療養を必要とする人が機能訓練や必要な治療を受ける	認知症の高齢者が自立的な共同生活をするための施設	月額利用料が比較的安価	通い・訪問・泊りのサービスを組み合わせて利用できる	介護保険を利用して他のサービスを受けることができる	介護、食事、生活支援などのサービスを提供する	介護サービスは訪問介護・訪問看護など外部を利用する	長期療養を必要とする人が機能訓練や必要な治療を受ける	脳血管障害や骨折等の患者を対象に集中的なリハビリをする	積極的な治療を望まないガン患者等を対象に症状緩和を行なう	精神疾患や認知症患者の入院治療に対応	急性期病院を退院したあと自宅復帰に向けた支援が必要な人が対象
	多床室、従来型個室、ユニット型個室的多床室、ユニット型個室など	医師が常勤。3か月ごとに在宅復帰が可能か検討	医療ケアに重点を置く	一人ひとりの能力に応じて家庭的な生活を送る	自立生活ができる事が入居条件	地域密着型施設	施設内にヘルパーがいる	身体支援や生活支援が月額料金に含まれている		医療ケアに重点を置く	疾病により入院日数が異なる(最長180日)	最期を穏やかに迎える	薬物治療などさまざまな治療法を組み合わせる	病状安定後の自宅復帰支援
	看取りの体制が整っているので終の棲家として入所できる	再入所も可能	容態悪化時は一般病棟へ移ることができる	住民票のある地域の施設のみ	自立生活困難時は退去促しの場合もある	小規模多機能型居宅介護に訪問看護を組み合わせた施設もある	高齢者の住まいの場である賃貸住宅・夫婦部屋もあり			容態悪化時は一般病棟へ移ることができる			専門治療を受けることができる	入院日数は最長60日まで
			療養の必要がなくなると退院する必要がある				自由度が高い			療養の必要がなくなると退院する必要がある			認知症症状の重い方向け	レスパイトの入院も可能
入居条件	65歳以上	65歳以上	65歳以上	65歳以上	60歳以上	65歳以上	概ね60歳以上	概ね60歳以上	概ね60歳以上	-	-	-	-	-
	要介護3以上	自立 ×	自立 ×	要支援2以上の認知症患者	自立 ○	自立 ×	自立 ○	自立 ○	自立 ○	-	-	-	-	-
		要支援 ×	要支援 ×		要支援 ○	要支援 ○	要支援 ○	要支援 ○	要支援 ○	-	-	-	-	-
要介護 ○		要介護 ○	要介護 △		要介護 ○	要介護 ○	要介護 ○	要介護 ○	要介護 ○	-	-	-	-	-
ケア体制	医療面	要確認	○	要確認	要確認	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	認知症	○	△	○	○	要確認	○	○	○	○	要確認	要確認	○	要確認
	看取り	○	△	○	△	×	△	△	○	○	×	○	△	×

※介護保険法の改定により内容が変わることがあります。